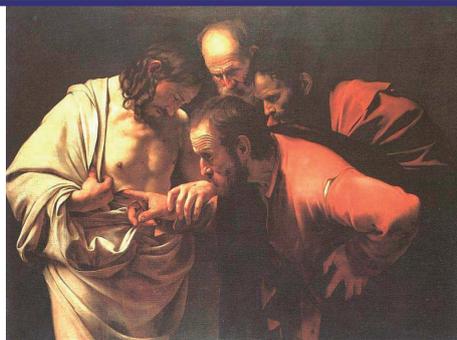


7月の予定

堅信式・ミサ 6日(日)
 教会委員会 13日(日)
 信徒の会 例会 20日(日)



2014年7月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1
 Tel/Fax (045) 803-6141

www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/

2014年7月6日

The incredulity of St. Thomas (Caravaggio, 1601-1602)

新しい風 — 「信徒の求道性(スピチュアリティ)」を求めて

小野寺 功



長い間中和田教会を司牧された山崎神父様亡きあと、一時は巡回教会を覚悟した私たちでした。しかし幸いにもその後、小林神父様、日野神父様をお迎えすることができ心から安堵しました。この伝統ある中和田教会から、新しい福音の風が吹くことが期待されます。しかし私たち信徒に一体何ができるのでしょうか？

最近私の信仰上忘れ得ない出来事は「風の家」の創始者であり、霊性の人でもあった井上洋治神父様が、今年三月に帰天されたことでした。聖マリア大聖堂での葬儀ミサと「偲ぶ会」に出席して、改めてその影響力の大きさを身に沁みて実感することができました。そして「風の家」の趣意書には「日本人の心の琴線にふれるイエスの顔をさがして、一人でも多くの日本人の人たちに、イエスの福音のよろこびを知ってほしい。そう願って『風の家』をはじめました。」とあります。そしてこれからのキリスト教にとって、一番必要とされるのは「在世間信者の求道性の確立である」と述べておられ、私のかねてからの考えと一致するものがあります。これはとくに目立つことをするというのではなく、一人ひとりが、具体的に日本人の「心の琴線」にふれるイエスの顔を求めて、自分なりに実践していくことであると思います。

私はその実践の一つとして、六月に刊行された「風(プネウマ)」誌の井上洋治神父の追悼特集に「遠藤文学と井上神学」という論文を寄稿しました。この二人の中、一人は在世間の作家として、一人は司祭として、共に協力しあって「日本人の心に響く福音宣教」という究極の志に生涯をかけたのでした。しかもこれは完成ではなく、将来の日本のキリスト教のために、一つの捨石になればと願ってのことでした。私はこの二人の關係に深い共感を覚えます。

また先日御ミサに出席した折に、小山さんから教会気付けで分厚い封書が届けられました。開封してみると、藤ヶ丘教会の小笠原優神父様からのもので「キリスト教信仰のエッセンスを学ぶ—より善く生きるための希望と道しるべ」という大部の冊子と、歌で綴った「ローマ巡礼記」が入っていました。そしてお便りには最近の活動が次のように書かれていました。「最近、先生のものを読む機会があり、懐かしくなってお手紙を差し上げる次第です。小教区における宣教と司牧に明け暮れておりますが、この度同封のテキストを作りました。目を通していただければ幸いです。またローマ巡礼記を歌の形で綴ってみました。拙いものですがスナップ写真とってください。日本の神学という長年のテーマを現場での司祭的奉仕の中で、相変わらず模索しております。ケセン語訳聖書を手がけた山浦玄嗣氏と交流を持つことになり、イエスの思いを生きた日本語で伝える大切さを、さらに追及したいと思っております。先生と山浦氏を私で関係したいですね。」

私はこれを読みながら、ここにも新しい創造的な福音の風が吹いていることを、心から実感させられました。司祭と在世間信徒との「共生」そこから何かが始まると思います。



日	曜	典 礼	ミ	サ	備 考
3	木	聖トマ使徒(祝日)	祝日	ミサ(9:30)	
4	金		初金	ミサ(9:30)	
6	日	年間第14主日	主日	ミサ(9:00)	堅信式、ミサ終了後祝賀会
11	金		週日	ミサ(9:30)	
13	日	年間第15主日	主日	ミサ(9:00)	
18	金		週日	ミサ(9:30)	
20	日	年間第16主日	主日	ミサ(9:00)	
25	金	聖ヤコブ使徒(祝日)	祝日	ミサ(9:30)	
26	土	聖ヨアキムと聖アンナ(記念日)	祝日	ミサ(9:30)	
27	日	年間第17主日	主日	ミサ(9:00)	子どもと共に捧げるミサ

～ 中和田の風 ～

『愛』と『ゆるし』を胸に － 高齢者サービスに生きがいを見出す －

いつも明るく、にこやかな大原幸恵さん（70才）に元気の源はどこにあるのか、お話を伺いました。

▲大原さんは幼児洗礼だそうですが、お子さんの頃のことをお聞かせください。

一佐賀県出身で父方の先祖は長崎の隠れキリシタンでした。家は貧しく学校を卒業して愛知県に就職しました。幼児洗礼を受けあの頃の典型的なカトリックの厳しい教えに従った家庭で育ったので社会に出てからが大変でした。工場長とぶつかってまでも日曜出勤より教会のミサを優先したものですから上司の評判はあまり良くなかったと思います。教会の教えが全てだったあの頃は社会の習慣とのずれを感じて随分辛さも味わいました。性格も今よりずっと暗かったと思います。

▲その後結婚されて信仰上の考えは変わっていききましたか。

一未信者の夫とは結婚前に主人が洗礼を受けること、日曜日に教会に通うことを大前提で結婚しました。しかしいざ結婚してみると平均的日本の家庭で育った夫にとってカトリックの教えを生活の全てに受け入れることは大変でした。そこで私も家庭を大切に妻は夫に従うという結婚前の勉強を思い出して、なるべく夫に合わせるようになってきました。また私自身がカトリックの教えで厳しく育てられたことに疑問や不満もあったので子供たちには幼い時は教会に連れてきていましたが、家庭では敢えて教えを口にすることもなく、なるべく個性を重んじ自由に育てました。私自身も厳しい教えから解放されて明るくなったと思います。

▲上飯田ケアプラザでのボランティア活動のことをお話ください。

一50才頃会社勤めをやめ、ヘルパーの資格を取って、介護施設のデイサービスの送迎、お年寄りの話し相手などの仕事をしていました。その頃上飯田近辺に住む独り住まいの高齢者の方に昼食のサービスをしようというボランティア活動が始まり思い切って参加させて頂くことにしました。今年で20年目になります。1人で歩いて来られる方を中心にケアプラザの2階で毎週金曜日に昼食を提供しています。また歩いて来られないお年寄りのためにはお弁当をお届けして話し相手や見守り活動もしています。



▲ケアプラザで活動していて良かったことはどんなことですか？また信仰によって助けられたことはありましたか？

一高齢者に関わるようになってから、お年寄りに喜ばれ感謝されるようになり、会社勤めでは感じられなかった喜びや、やりがいを感じるようになりました。とは言っても長い間には嫌なこともたまにはありましたが、信仰があったからこそ途中で投げ出すことなくここまで続けてこられたのだと思います。「愛」と「ゆるし」の教えのおかげですね。この年になってようやくこれに尽きると思うようになりました。

▲最後に大原さんにとって教会とは、どんなところでしょうか？

一教会は日曜日のミサにあずかって一週間の心の疲れを取り、新しい自分になってまた一週間がんばろうと元気を頂く場所としてなくてはならない心のよりどころです。

バザーに向けた「手作り品作り奉仕日」の活動について

現在、バザーに向けて、毎月第2、第4木曜日の午前10時から午後3時まで、手作り品作りの作業をしています。毎回5～7名の方が適宜集まって、提供していただいた毛糸や布を有効に活用させていただくために、何を作ろうかとアイデアを出し合いながら、和気あいあいと作業をすすめ、すこしずつ作品を仕上げている様子です。



「女性のおしゃべりには無駄がない」（笑）と言われますが、まさにその通りで、手を動かしながら、昔話に花を咲かせたり、料理の作り方を教え合ったりと、会話もよい参考になります。

バザーに来てくださる方々の中には、手作り品を楽しみに待っていてくださる方も多く、開店前から品選びをされるほどです。心のこもった手作り品です。ぜひバザーを楽しみに待っていてください。

なお、ここで作られた作品だけでは、とても数が足りませんので、皆様からの作品提供などご協力とご支援が必要です。どうぞよろしくお願いいたします。

（中村幸子）

5月号中和田の風を読んで

「居場所」... なんてやさしい響きなのでしょう。

5月号に掲載された森脇留美さんの文章に感動を覚えました。私が出会った頃の留美さんは可愛い小学生でしたが、今は立派な大学生になり、眩しい程素直に成長された姿に教会での良い交流があったからとわかりました。

10年前の私は何故か不安と緊張で御聖堂の扉を開けて中に入ることが出来なかった自分を思い出しました。一緒に洗礼を受けた大宮ひとみさんも同じようなお気持ちであったと知り、嬉しくもあり安心致しました。

当初、教会の方々とはご挨拶程度の会話でしたが、行事を通して親しくお話させていただくようになり、私にとりましても、教会は「居場所」になりつつある事を改めて感じました。

御聖堂に入り正面にキリスト様の御像を見上げると十字架上で両手を広げ、穏やかで慈愛に満ち信徒一人一人をあたたく迎えて見守って下さるお姿に心が安らかになります。

これからも中和田教会の信徒の一員としてご指導いただきますようお願いいたします。

(中村 幸子)



教会訪問記

6月4日晴れ、この時期にしては少し蒸し暑い。指定場所に全員集合、定時に出発
最初の訪問地は東京渋谷の初台教会 車中で聖歌の練習を岩瀬さんの指導で予習 バス
は都内に入って渋滞に遭遇したが何とか定刻に到着。自分は1960年頃この教会を訪れた
事があったが当時の面影は全なく、華麗な教会の佇まいに変貌していた。ここで日野
神父様の司式でミサに与る。時間の都合でお説教は割愛！ミサの後大川さんに各施設の
説明を受ける。昼食はバス会社推奨の「オペラシティー東天紅」で。230mの眺望のみが
印象に残った！食後、神田教会を訪問 ここには聖F・ザビエルの遺骨が安置されて
いる由緒ある教会、それぞれが黙想し最後に関口教会（東京カテドラル）に向かう。
ここで日野神父様の同窓の神父様を訪問されたが不在のため目的叶わずの帰浜となった。が、車中は次のバスツアー
の話題で大いに盛り上がっていた。



この計画にご尽力頂いた岩瀬ご夫妻に感謝！

(石井 三雄)



信徒の会：例会報告（6月15日）

6月15日、20名の御参加を頂き信徒の会が開催されました。

委員会の状況報告の後、6月4日の都内教会訪問バスツアーに関する意見交換を実施しました。御意見を集約すると、快適なバスで効率よくまたゆっくりと3教会を巡れたこと、それぞれ特徴のある印象深い教会だったこと等からおおむね好評で、次回また実施しようとのこととなりました。今後訪問したい教会を皆様にリストアップして頂き、計画を練ることとなります。また、三浦教会と聖母訪問会三浦修道院には自家用車数台で早い時期に訪問しようとのこととなりました。

次に現時点でのバザーの準備・計画状況が報告され、御意見を頂きました。

またユニークな内容の「聖書の読み方」（大貫隆著）の本の紹介もありました。

ガーデンパーティーについての御意見も頂き、夏期に夕涼みを兼ねて教会の庭で行う、近隣の方もご招待する、手のかかるバーベキューは行わないこととなりました。

日野神父様からは、今年12月にイタリアの聖地巡礼に出かけ、6～7人（夫婦三組）程度はアレンジ（航空機、宿泊、食事などすべて）できるので、7月頃募集したいとのお話がありました。普通のツアーでは行けない所を案内して頂けるそうです。

(岩瀬 英介)



5月25日および6月22日に第3、4回のバザー委員会を開催しました。両委員会を通じて決められた事項は下記の通りです。

食事・食品に関しては、ちらし寿司、トウガン汁、焼きそば、春巻、フランクフルト、ふかし芋、ケーキを販売することとなり、値段と数量を暫定的に決めました。尚、第二回バザー実行委員会で汎用食券を販売することでしたが、再度議論の結果、食券は廃止し、現金販売のみとなりました。(極力簡単化、食事の数量予測はつかないが予定数量を作成・販売したら売り切れゴメンで割り切る)

被災地の物品販売は生ものは扱わず、その他委託品については福祉グループとも協力し、次回までに取り扱い内容を検討します。また日野神父様からは園芸品を出品して頂くこととなりました。三浦では、近隣の御趣味をお持ちの方々が買いに来られましたが、中和田でも今後増えていくことが期待されます。

6月22日に夏物古着の販売会を実施しました。予想を上回る売り上げとなり、古着をご提供下さった方々、準備と当日の対応に当たられた方々、御参加・お買い上げ頂いた皆様に御礼申し上げます。

フリーマーケットに関しては、特に積極的な呼びかけは行わないが、出店希望者がいらっしやるようであればあらためて検討することとします。また魅力的な品について、バザーを盛り上げるためにオークションにて販売することも考えますが、まずどの程度魅力的なものが出てくるかを見た上で判断することとなりました。

(岩淵英介)



△6月8日(日) 12名出席▽

■日野神父様からのお話

中和田教会に来て一か月ちよつと経ちました。引越越しによる費用などかかったと思いますがありがとうございます。忙しさのためか手が腫痛炎になってしまいました。

7月6日は司教様を迎えて堅信式があります。勉強の準備やその他ご協力をよろしくお願いします。

■報告事項

- ・スケジュール確認・訂正
- ・災害対策―中和田カトリック教会における被害状況報告者の確認
- ・中和田カトリック教会自衛消防隊組織について総務より改定案が提示され9月頃に一度避難訓練をするとして承認された。

■各グループからの報告

- 行事(岩淵(洋)・内藤)
 - ・堅信式のパーティの準備について―お手伝いCD地区、コーヒ―サービス(信徒の会から男性)、司会進行は井上さん
 - 典礼(大宮(智))
 - ・日野神父様からの要望で集めたミサ献金袋を載せる台を検討している。
 - ・7月6日(日) 堅信式ミサの先唱：井上さん
 - 財務(甲斐)
 - ・特になし
 - 宣教(井上)
 - ・要理(石井(奈))
 - ・運動会：5月18日(日) 湘南白百合学園にて実施された。参加者

135名(中和田からは保護者を含む20名参加)

・サマーキャンプ：8月8日(金) 10日(日) 於・山中湖星美ホーム林間寮

・参加費用：一万円程度(教会から補助を出しますので大いに参加してください)

・湘南キリスト教セミナー：秋に開催できるよう講演者選定中

・中高生会：夏休み中に開催予定

・6月29日(日) 堅信式リハーサル

・泉区民クリスマス実行委員会 6月27日(金) カンバード教会 19:00

・マリアシヤト―に子供用教材を入れてある。今後は活用したい(日野神父様)

●管轄・建物(福島)

・物置購入

・1F 台所隣の部屋の図書室化

・見積もり中

・2F 寒暖の差が厳しいので窓の二重化、障子、断熱カーテンなどを検討中

・相見積もりを取りたいので教会近隣の業者を知っている人は紹介してほしい。

内容など最終的に委員会で諮って決める。

尚、今年には幹事・世話役は現委員会委員に御願ひすることです承された。

・女性委員長が望まれる。司祭が変わったことを機に変わるチャンスと捉えてください。(日野神父様)

・畑グループからマリヤ様御像にルルド風の覆いを費用を抑える工夫をして設置したいとの提案があった。―畑グループからの献金は一般献金として受け入れ、構想を提案して頂き委員会の了承を得た上で設置工事して頂く。

●広報(今井)

・原稿依頼(6月25日締切)

●討議報告事項

・日野神父様より：12月1日〜10日までイタリヤ巡礼旅行を予定。旅行希望の方は神父様が責任を持って手配・案内します。宿泊は修道院などを利用し観光ツアーでは行けないような場所にご案内します。留守中は熊木神父様に依頼済みで主日ミサ、ゆるしの秘跡、黙想会などを実施して頂きます。旅行ご希望の方、詳細についてご質問がある方、なるべくお早目に神父様に直接お問い合わせください。

次回委員会

7月13日(日) 以上

